

2026 年度大学院入学試験（専門科目）出題意図

科目名	労働法
問題	
<p>次の（１）～（３）のなかから１問選び、解答しなさい。</p> <p>（１）配転命令権の法的根拠および制約について、法令・判例を用いて述べよ</p> <p>（２）労働組合法 7 条 3 号に定める不当労働行為に該当する使用者の行為について述べよ</p> <p>（３）高年齢者雇用に関する法制度について、趣旨・内容を踏まえて今後の課題を述べよ</p>	
出題意図	
<p>（１）（２）は労働法を専攻する場合に必要な基礎的な知識が広く習得できているかを、（３）近時の労働政策上の課題について十分な関心を持ち探求する姿勢を有しているかを問い、また 3 問ともに知識に基づいて論理的に思考できるかを問う問題である。</p> <p>（１）は労働契約分野からの出題である。配転命令権の根拠について、前提となる判例法理を踏まえて論理構造を理解できているか、また制約法理についての現在に至るまでの運用の変遷を理解できているかを問う。</p> <p>（２）は労働組合分野からの出題である。労働組合法の中核をなす不当労働行為について、正確に全体を把握し理解できているかを問う。</p> <p>（３）は、雇用政策分野のうち 2025 年度に改正のあった内容についての出題である。近時の雇用政策および社会保障制度の課題について、制度上の問題点を指摘し、思考のプロセスを明示して論じることができるかを問う。</p>	